「やさしさ」を抱きしめよう

第163号

まつの社協だより

令和4年8月発行

編集・発行
社会福祉法人
松野町社会福祉協議会

〒798-2101
北宇和郡松野町大字松丸1661-13
ＴＥＬ（0895）42－0794
ＦＡＸ（0895）20－5311

地域を 美しく 明るく 住みよく 花いっぱい運動

蕨生地区のみなさんが、伊井公園前と谷口診療所前の花壇を清掃し、花の苗を植える「花いっぱい運動」の取り組みを行いました。

久しぶりの地域行事に、子どもから大人まで様々な世代の方が参加され、花の名前や植え方を教わったり、近況を報告し合ったり、話に花が咲き、次のお楽しみ地区行事の相談もされていました。

ケアマネだより
～災害に備えて～

「ローリングストック」をご存じですか？

長期保存できる非常食を購入されているかたも多いと思いますが、普段から食べている食品を少し多めに購入して備え、普段の食事で消費した分をまた購入して備えるという方法もあります。

① 缶詰やレトルト食品、乾物やインスタント食品など、常温保存できるもの、消費期限が長い物、調理なしや簡単に食べられるものを準備する。

② 普段の食事で消費期限の近いものから優先的に食べる。

③ 忘れずに使った分だけ買い足す。

災害時に普段食べ慣れたものを口にできることは、精神的な支えにもなります。同じように日用品も準備できます。普段の買い物で備えてみませんか？

成年後見制度　相談会のお知らせ

弁護士や司法書士が成年後見制度の利用や相続、遺言など、ご相談をお受けします。 お気軽にご相談ください。

【日程】令和4年8月21日（日） 午前9時～12時　相談料無料

【場所】松野町社会福祉協議会（JR松丸駅横）

【申込み方法】
電話にて、下記までお申込みください。　予約優先

＜問合せ・申込み先＞
宇和島地区権利擁護センター「ピット」
（宇和島市総合福祉センター内）
〒798-0003
宇和島市住吉町一丁目6番16号
☎（0895）28-6033

※このセンターは、宇和島市・松野町・鬼北町・愛南町から委託を受けて宇和島市社会福祉協議会が運営しています。

【 共同募金配分金事業 】

○令和3年度の募金実績　一般募金 758,845 円　歳末たすけあい 303,500 円

○皆様からの温かい募金を財源に、下記のとおり活用させて頂きました。総事業費 476,845 円

・専門業者による遊具の点検。 55,000 円

・地域食堂支援、災害時・介護予防備品整備、中学卒業記念品、小学校入学記念、サロン活動における助成。 421,845 円

○歳末たすけあい運動

・民生児童委員の協力により、町内外 186 名を対象に、見守りを　兼ね訪問活動を実施。267,000 円

【 まごころ銀行運営事業 】

○町民の方々の善意の寄付金を受付管理し、その健全な管理運営を行なうとともに、地域福祉活動や介護保険事業などへの活用を図った。

○令和３年度の寄付受付状況

使途目的	件数	金額（円）	割合(金額比%)
地域福祉事業へ	10	180,000	12%
介護保険事業へ	5	81,000	5%
法人へ一任	35	1,240,000	83%
その他	0	0	0%
合計	50	1,501,000	100%

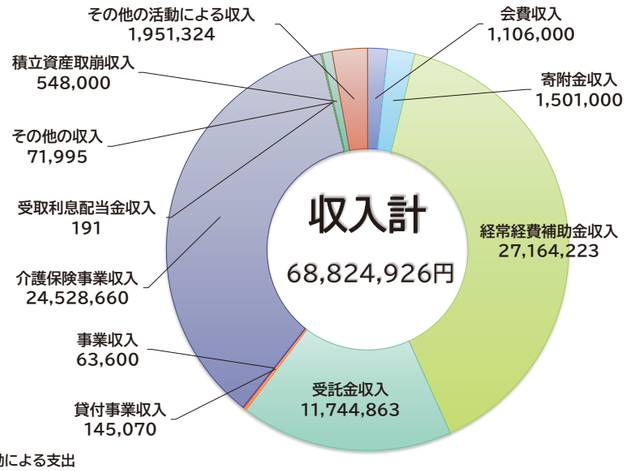
○助成状況（公募）

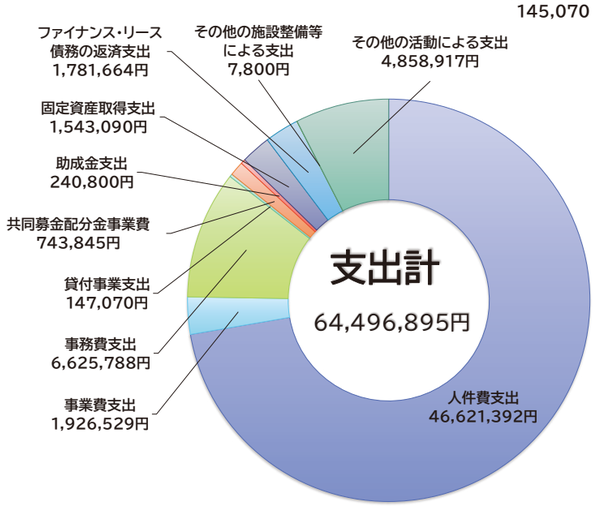
・令和3年度 まごころ銀行助成金交付事業(公募)
申込件数0件

○社協事業での活用

事業名	内容	活用額（円）
地域福祉事業	活動費、広報費など	400,000
介護保険事業	活動事業費など	200,000
福祉車両購入	車両購入費	370,000
合計		970,000

【 収支決算 】





収支差額
4,328,031円

詳しい内容はホームページに掲載しています。

http://matsuno-syakyo.or.jp/

事業報告　決算報告

令和3年度の事業報告ならびに収支決算について、主な内容を報告します。

【 法人運営事業 】

○会議・各種大会の開催　敬老行事の実施　少年の日を祝う会への助成

○社協会費募集結果　総件数　1,070 件　会費金額　1,106,000 円

○松野町老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会・遺族会の事務局として支援

○日赤奉仕団の支援（会議・ボランティア等の支援）　母子寡婦福祉協議会（事業費支援）

○日本赤十字社募金　社資募金額実績　614,000 円

【 地域福祉推進事業 】

○第１期地域福祉活動計画の推進

「いまある支え合いを大切に自分たちでまちづくり」を基本理念に、５ヵ年計画の５年目にあたり、地区の活動状況や課題を振り返り、全体計画の評価と２期計画の策定を行った。

○ボランティア活動の支援

つるし雛作り、通学路清掃活動、子育て世帯への支援活動、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。

○福祉教育の取り組み

ふだんのくらしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなが一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来る事を考えるきっかけづくりとして、学校等と協働し取り組んだ。

○生活支援体制整備事業

住民の健康づくり、地域の見守りネットワークづくりのため、理学療法士、地域おこし協力隊と連携し、座ってできる体操を制作した。

○生活困窮者自立支援事業

県からの受託により「くらしの相談支援室」を開設。多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付けるとともに、家計相談支援事業も実施した。　年間相談件数　256 回

○ふれあい・いきいきサロンの支援（町内 10 グループ）

情報交換、ふれあい、心身の健康づくりや生きがいづくりを目的とした住民主体の活動を支援した。コロナウイルス感染症の影響で開催しづらかったが、参加者同士で安否確認をしあい、つながりを絶やさない活動を支援した。

○生きがい活動支援通所事業の実施

おおむね 65 歳以上の方を対象に、介護予防と自立的生活が送れるよう、社会参加を推進し、健康講座や趣味の創作活動を支援した。コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・開催時間を短縮する対応をし、中止期間中は個別に電話で体調の聞き取りや訪問を行ったり、脳トレや体操のプリントを郵送した。（参加者 51 名）

○心配ごと相談事業　実施回数　年間 12 回（内、弁護士相談３回 / 年）　年間相談件数　４件

○福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安、または不十分な方であっても福祉サービスの利用が適切に利用できるよう援助し、これに伴う日常的金銭管理等をあわせて行った。

○生活福祉資金貸付事業（県社協受託）　貸付実績　34 件　13,753,445 円

○小口資金貸付事業　貸付実績　12 件　326,000 円（令和３年度末貸付総額）

○訪問型サービス事業

令和３年８月より町内に在住する要支援者 1,2 の方を対象として、利用者が要介護状態となる事の予防、要援護状態の軽減または悪化を防止し、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むために、掃除や調理、ゴミ出しなどの軽微な家事援助など、松野町事業実施要綱に基づき、生活援助に限定したサービスを実施した。

【 在宅福祉サービスの推進事業　～介護保険事業～ 】

○居宅介護支援事業

ケアプランの作成や相談支援活動を行い、24時間連絡相談体制を整備するなど、利用者が健全で安らかな在宅生活が送れるよう、また、家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。

○訪問介護事業（令和4年6月をもって事業廃止）

○訪問入浴事業（令和4年6月をもって事業廃止）

蕨生地区 活動

「笑び生 ばっぽ」楽しみながら つながりづくり

蕨生地区のみなさんが、災害時に備えて日頃からのつながりづくりのため、笑び生地域食堂ミニ版を行いました。

活動計画推進委員を中心に、役割分担しながら「ばっぽ」作りをしました。

地区のみなさんに集まってもらった後は、地区の防災力アップのため、消防団の方に教わり、消火訓練を行いました。

「こんな時だからこそ、心を寄せ合う活動が大事、感染対策しながら、コロナでもできる工夫をしよう」と取り組まれ、「笑び生」な活動になりました。

福祉ボランティアグループ 活動

通学路清掃活動に 汗を流しました！

福祉ボランティアグループのみなさんは、「できる時に　できるだけ」を合い言葉に活動されています。

今回は、雑草がのびて通りづらくなっている歩道の清掃活動を行いました。

活動後は、「キレイになると気持ちいいね」とイキイキした表情で話され、地域も心も豊になる活動でした。

地域を カケル 活動 紹介します

中学校×地域 活動

まちおこプロジェクト ケンコウスイッチ・オン!!

松野中学校生徒会では、地域との交流を通して地域を活性化したいという思いのもと、「まちおこプロジェクト」に取り組まれています。

今年度第1号は、救急法講習会です。

日本赤十字社愛媛県支部救急法指導員より、心肺蘇生やAEDの使い方など、命をつなぐ行動について、地域の福祉ボランティアさんと一緒に学びました。

今回学んだことで、知識と技術と勇気が加わりました。

東小 × 地域 活動

手つなぎボランティア 赤十字活動

東小学校の青少年赤十字のみなさんと、松野町日赤奉仕団のみなさんが協力して、手つなぎボランティアを行いました。

今年度は、自分たちの地域をきれいにするために、通学路の清掃活動を行った後、みんなでレクリエーションをして交流を深めました。

一緒に汗を流し、笑い、楽しみ、充実した活動になりました。